



【取組内容】

- SDGsの全国展開を図るべく、SDGsについての正しい知識を推進するプログラムを実施し、**「日本青年会議所 SDGsアンバサダー」を創出**。このアンバサダーのセミナーにより、**3,141社の中小企業がSDGsのゴールを掲げた**。ジェンダー平等のための連帯運動**HeForSheキャンペーン（UN Women主催）に協力して全国で実施**。
- 国内外の企業と連携し、**全世界の水と衛生に関わる教育問題を解決するための事業を推進**、日本・ロシアの**大学生間の議論・交流の実施**、**国際青年リーダー育成事業**の実施、中高生を対象とした**SDGsを学ぶ派遣事業の実施**等。
- 外務省と**「SDGsティアップ宣言」**締結、SDGs推進の活性化につながる**広報媒体の立ち上げ**、会費を財源とし、**47都道府県全ての地域で合計648件のプロジェクトの開始**、JCI金沢会議、G20YEA、サマーコンファレンス等の**大規模会議の開催**。

SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

普遍性：	SDGsアンバサダーは、国際社会におけるロールモデルとなる。中小企業の意識改革や次世代リーダー育成に貢献。
包摂性：	「誰一人取り残さない」約30種類のSDGs達成に向けた事業の実施、HeForSheキャンペーンの推進、SDGsを軸にした交流の実施等。
参画型：	お年寄りから子どもまで誰も取り残さない事業を全国で展開、全国すべての青年会議所と「SDGs推進宣言」を決議。
統合性：	水と衛生に関わる事業で、経済・社会・環境の統合的な相乗効果を醸成。国内・国際的なネットワークを活用した統合的な視点で、異なる優先課題を有機的に連動。
透明性と説明責任：	計画段階で主要業績評価指数（KPI）を設定し、検証を実施。HPやSNSを通じて情報を発信。

